

課題評価について

研究課題が各執行段階で受ける評価で、4種類ある。

種類

事前評価 研究課題の選定時に、研究に着手することの適切性、妥当性にして行う評価

中間評価 5年以上の期間にわたる研究課題について、一定期間を経過した時点で当該研究の継続及び見直しについて行う評価

事後評価 研究終了後、研究目的、目標の達成土や成果の妥当性等について行う評価

追跡評価 研究終了から一定期間経過した後、成果の普及、活用状況等について行う評価

評価点の基準(5段階評価)

- 5: 非常に優れている
- 4: 優れている
- 3: 良好、適切である
- 2: やや劣っている
- 1: 劣っている

機関評価について

5年に1度行う研究所運営状況の評価

(評価結果を次期研究基本計画に反映させるため、平成30年度に限り、3年間の評価を行った。)

評価項目

組織及び施設等の整備状況

研究の実施状況

普及指導の実施状況

研修の実施状況

普及啓発活動

評価点の基準(5段階評価)

- 5: 非常に優れている
- 4: 優れている
- 3: 妥当
- 2: 見直しが必要
- 1: 全面的見直しが必要